

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

XProtect® Access 2025 R2

システム管理者マニュアル



内容

著作権、商標、および免責条項	3
概要	4
システム管理者用のXProtect Access	4
互換モード	4
ライセンス	5
XProtect Accessライセンス	5
設定	6
統合された入退室管理システムを設定する	6
入退室管理システム統合ウィザードの作成	6
入退室管理システムへの統合の作成	6
設定アクセスリクエスト	8
入退室管理関連のイベント用にEメールによる通知を設定する	8
参照	10
入退室管理プロパティ	10
一般設定タブ（入退室管理）	10
ドアと関連付けられたカメラタブ（入退室管理）	11
GPS座標タブ（入退室管理）	12
入退室管理イベントタブ（入退室管理）	12
アクセスリクエスト通知タブ（入退室管理）	14
カードホルダータブ（入退室管理）	15

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2025 Milestone Systems A/S

商標

XProtect は Milestone Systems A/S の登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。Android は Google Inc. の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

本マニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生するリスクはすべて、使用者が負うものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事柄も保証するものではありません。

Milestone Systems A/S は、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の規約が適用される可能性があるサードパーティー製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル3rd_party_software_terms_and_conditions.txtをご参照ください。

概要

システム管理者用のXProtect Access

XProtect AccessはXProtectの拡張機能です。その入退室管理システム専用のXProtectプラグインが存在する場合、組織は入退室管理システムをXProtectと統合できます。

この拡張機能を使用するには、以下のものを購入する必要があります。

- XProtect Accessと一緒に使用したいXProtectシステムごとに基本ライセンスが1つ必要です。
- XProtectを通じてコントロールしたいドアごとにドアライセンスが1つ必要です。

XProtect Accessには以下が含まれています。

- XProtect Smart Client内の入退室管理システムを操作するための共通ユーザーインターフェイス。
- 入退室管理システムの強力な統合。
- アクセスポイントでのイベントのライブ監視。
- オペレータ対応のアクセスリクエスト。
- マップとの統合。
- 入退室管理イベントのアラーム定義。
- アクセスポイントでのイベントの調査。
- ドアのステータスの一元化された概要とコントロール。
- カードホルダー情報と管理。

XProtect Smart Clientのユーザーがドアを開けたり入場を拒否したりするなどのアクセス関連のアクションを行うたびに、システムはそれを**監査ログ**に記録します。

互換モード

XProtect Accessはxxと互換性がありません：

- XProtect Express+
- XProtect Professional+
- XProtect Expert
- XProtect Corporate

ライセンス

XProtect Accessライセンス

XProtect Accessを使用するには、以下の入退室管理関連のライセンスを購入します。

- XProtect Accessのインスタンスごとに基本ライセンス1つ。ライセンスは無制限台数のアクセスサーバーをカバーしています。
- XProtect Accessで統合および制御するドアごとにアクセスコントロールドアライセンス1つ。2つの入り口を持つドアには、1つのドアライセンスのみが必要です。

購入は1回限りの料金で、初回購入後のメンテナンスや年会費はありません。

追加のXProtect Access基本ライセンスまたはドアライセンスを購入するには、ベンダー

XProtect Accessのインストールが完了すると、購入したすべてのドアライセンスが即座に利用可能になり、入退室管理ドアに関連付ける準備が完了します。ドアライセンスを有効にするには、含まれているドアライセンスを使用したいドアに関連付けします。所有しているドアライセンスの数だけ、ドアを有効化できます。

例

- ドアを10個追加したいが、アクセスコントロールドアライセンスが5つしかない場合、追加できるのはその5つのドアだけです。残りの5つのドアを追加したい場合は、既存のドアのいくつかを削除するか、別の5つのドアライセンスを購入します。
- アクセスポイントが2か所あるドアが1つあります。2つのリーダーがある場合でも、アクセスコントロールドアライセンスは1つのみ必要です。



アクセスコントロールドアライセンスのステータスに関する情報を見つけるには、XProtect Management Clientで**入退室管理**ノードを展開します。

設定

統合された入退室管理システムを設定する

要件

- 必要なXProtect Access基本ライセンスとドアライセンスを購入されました。
- 入退室管理システムをXProtect Accessと統合するためのプラグインをインストールしました。

設定

1. XProtectシステムに、統合された入退室管理システムを追加します。ウィザードが統合の最も基本的なステップを説明します。[入退室管理システム統合ウィザードの作成 on page 6](#)をご参照ください。
2. 入退室管理システム統合には、さらに多くのプロパティを指定します。特に、入退室管理イベントは、入退室管理システムからXProtectが認識するイベントカテゴリにイベントをマッピングする必要がある場合があります。[SECTION AND PAGE REFERENCE](#)をご参照ください。
3. XProtect Smart Clientの入退室管理機能を使用するには、アクセス権限がある役割を作成します。
4. Smart Clientプロファイルを役割に関連付けます。
5. [SECTION AND PAGE REFERENCE](#)を追加および修正します。XProtect Accessには、アクセスが拒否された場合にXProtect Smart Clientでアクセスリクエスト通知を表示するデフォルトルールが含まれています。
統合入退室管理システムからのアクションおよびイベントを基に追加のルールを作成できます。
6. 任意で、**オプション>入退室管理設定**で全体的な入退室管理設定を変更します。

入退室管理システム統合ウィザードの作成

ウィザードを開くと、いくつかの設定がすでにデフォルト値で埋められています。これらの値は統合プラグインによるもので、統合入退室管理システムによってウィザードの外観が異なります。

- ウィザードを開始するには、Management Clientから[ノードツリー]の[**入退室管理**]を選択し、右クリックして[**新規作成**]をクリックします。

入退室管理システムへの統合の作成

サードパーティーの入退室管理システムとの統合を作成するには、XProtect VMSに接続し、入退室管理システムの統合を適切なカメラに関連付けます。

入退室管理システムへの接続

1. Management Clientの**入退室管理**ノードで、**[入退室管理]**を右クリックし、**[新規作成]**を選択します。
2. **入退室管理システム統合の作成**ウィザードで名前を付け、追加したい入退室管理システムの接続詳細を指定します。

このウィザードは、入退室管理システムとの初期統合のステップごとの設定を提供します。これにより、最も基本的な設定作業を完了し、後でより詳細に設定することができます。

入退室管理統合ウィザードを実行する前に、イベントサーバーに入退室管理システムの統合プラグインがインストールされていることをご確認ください。

接続の詳細については、より多くの設定を指定する必要があるかもしれませんが、設定には通常、入退室管理システムサーバーのネットワークアドレスと管理者のユーザー名およびパスワードを追加することが含まれます。XProtectはこれらの資格情報を使用して入退室管理システムにログインし、完全な設定を取得します。

統合プラグインは、ウィザードにリストされていない追加の設定を定義する場合があります。必要に応じて、統合を設定した後に**一般設定**でこれらの設定を後で調整します。設定のデフォルト値は、プラグインまたは入退室管理システム自体によるものです。

プラグインが入退室管理システムを統合し、プロセスにエラーがなかった場合、入退室管理システムから取得した設定の概要が表示されます。次のステップに進む前に、すべてが統合されていることを確認するために要約をレビューしてください。

入退室管理システム統合とカメラを関連付ける

入退室管理システムのアクセスポイントをXProtectシステムのカメラとリンクし、ドアからのイベントに関連するビデオを表示します。

また、複数のカメラを単一のアクセスポイントにマッピングすることもできます。XProtect Smart Clientオペレータがイベントを調査する際、そのアクセスポイントに関連付けられたすべてのカメラの映像を表示することができます。オペレータは、**アクセスモニター**のビューアイテムを設定する場合、カメラの1つを追加することもできます。

アクセスコントロールドアライセンスに関連付けられたドアは、デフォルトで有効になっています。必要に応じてドアを無効にし、アクセスコントロールドアライセンスを解除するにはチェックボックスをオフにしてください。

概要

設定中にエラーが発生しなかった場合、入退室管理システムの統合はその時点でXProtectに作成されています。プラグインから継承されたデフォルト設定が含まれています。オペレータは、新しい入退室管理システムを確認し使用するために、再度XProtect Smart Clientにログインします。

設定は、いつでも変更できます。

設定アクセスリクエスト

アクセス拒否や**アクセス許可**など、いくつかの種類の入退室管理イベントを使用できます。アクセスリクエスト通知を有効化するには、イベントの種類をイベントカテゴリ**アクセスリクエスト**と関連付けておく必要があります。デフォルトでは、**アクセス拒否**のイベントタイプは、イベントカテゴリである**アクセスリクエスト**に関連付けられています。これを変更しない限り、アクセスリクエスト通知は、誰かのアクセスが拒否された場合にのみ送られます。この設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

要件

オペレータが属する役割の通知を有効にします。役割で、[**入退室管理イベント**] タブをクリックし、[**入退室管理イベント**] を選択した後、[**通知を受け取る**] チェックボックスを選択します。

設定

1. **サイトナビゲーション**ペインで、**入退室管理**を選択します。
2. **入退室管理イベント**タブの**入退室管理イベント**カラムで、編集したいイベントタイプを見つけます。
3. イベントタイプにおけるアクセスリクエストを無効にするには、**イベントカテゴリ**カラムで  をクリックし、[**アクセスリクエスト**] のチェックボックスを外します。
4. 追加のイベントタイプに対するアクセスリクエストを有効にするには、[**イベントカテゴリ**]カラムで  をクリックし、[**アクセスリクエスト**] のチェックボックスを選択します。
5. 変更を保存します。

入退室管理関連のイベント用にEメールによる通知を設定する

XProtect Accessは、入退室管理関連のイベントがトリガーされたときに、XProtect VMSからEメールによる通知を送信できるようにします。

1. ManagementClientで、**ツールとオプション**に移動し、**Eメール設定が正しく行われていることを確認**します。
2. Management Clientの左側のペインから**通知プロファイル**に移動し、新しい通知プロファイルを追加します。通知プロファイルに名前を付けて、[**次へ**] をクリックします。
3. **通知プロファイルの追加**ウィンドウ：
 - 受取人のEメールアドレスを指定します。
 - Eメールによる通知の件名に含めたいテキストを入力します。
 - **メッセージテキスト**に含めたいテキストを入力します。
4. **メッセージテキスト**フィールドの下で、**入退室管理ユニット名**などのさまざまな種類のシステム情報を**件名**または**メッセージテキスト**フィールドに追加します。

このシステム情報をEメールに追加することで、受取人はイベントをトリガーした入退室管理ユニットに付けられた正確なシステム名を得ることができます。

5. オプション：

- 電子メールによる通知をテストするために、指定の受信者に送信したい場合は、**[電子メールのテスト]**をクリックします。
 - プリアラームの静止画像を含めるには、**[画像を含める]**を選択して、画像数、画像間の時間間隔、画像をEメールに埋め込むか否かを指定します。
 - AVIビデオクリップを含めるには、**[AVIを含める]**を選択し、イベント前後の時間とフレームレートを指定します。
6. 特定の入退室管理関連のイベント、例えばドアの電源障害に基づいてEメールによる通知をトリガーするといった新しいルールを作成します。
 7. 統合入退室管理システムからの関連イベントでトリガーされるルールを設定します。
 8. 作成したEメールプロファイルを使用して通知を送信するアクションを設定し、次に**[完了]**を選択します。



上記の例は、Eメール通知に追加できる特定の入退室管理関連情報に焦点を当てています。Eメール通知の情報レベルを向上させるために、ルール名とトリガー名を件名とメッセージテキストフィールドに追加することもできます。

参照

入退室管理プロパティ

入退室管理ノードのタブを使用して、入退室管理システム統合のプロパティを調整します。

一般設定タブ（入退室管理）

名前	説明
有効	<p>統合入退室管理システムを有効または無効にします。この設定を無効にすると、XProtectシステムは入退室管理イベントを受信しなくなります。</p> <p>統合入退室管理システムは、十分な権限を持つユーザーに対してデフォルトでXProtect Smart Clientで有効化され、表示されます。</p> <p>場合によっては、メンテナンス中などに不要なアラームを生成しないように、入退室管理イベントを無効にする必要があります。</p>
名前	Management Clientおよび他のクライアントに表示される入退室管理システム統合の名前を追加または編集します。
説明	入退室管理統合の説明を追加します（任意）。
統合プラグイン	最初の統合で選択した入退室管理システムのタイプを表示します。
前回の設定更新	入退室管理システムから最後にインポートした日付および時刻を表示します。
設定の更新	<p>統合入退室管理システムで設定変更を行い、ドアの追加や削除などをXProtectに反映させたい場合は、このボタンをクリックします。</p> <p>ボタンをクリックすると、入退室管理システムの設定変更の概要が表示されます。新しい設定を適用する前に、リストを確認して、入退室管理システムに正しく反映されるようにします。</p>
オペレータのログインが必要です	<p>入退室管理システムが異なるユーザー権限をサポートしている場合、クライアントユーザーに対して追加のログインを有効にします。この設定を有効にする場合は、XProtect Mobileクライアントは入退室管理システムを使用できません。</p> <p>統合プラグインが異なるユーザー権限をサポートしている場合のみ、この設定が表示されません。</p>

可能な設定

統合している入退室管理システムプラグインに応じて、以下の設定の例が表示される場合があります。設定の名前とその内容はプラグインからインポートされます。

名前	説明
アドレス	統合された入退室管理システムをホストするサーバーのアドレスを入力します。
ポート	入退室管理システムが接続するサーバーのポート番号を指定します。
ユーザー名	XProtectの統合入退室管理システムの管理者となる入退室管理システムのユーザーの名前を入力します。
パスワード	デフォルトでは、パスワードフィールドは非表示です。入退室管理システムで保存するために、システム管理者のパスワードを入力する場合はボタンをクリックしてください。保存すると、パスワードが認証されます。

ドアと関連付けられたカメラタブ（入退室管理）

このタブを使用して、ドアアクセスポイントをカメラ、マイク、スピーカーにリンクします。

- 統合設定中にドアアクセスポイントにカメラを割り当てる必要がありますが、後で変更することができません。
- マイクとスピーカーは、それに関連するカメラを通じて自動でリンクされます。

名前	説明
ドア	<p>入退室管理システムで定義されている、使用可能なドアのアクセスポイントをドア別にグループ化してリストします。</p> <p>関連するドアへのナビゲーションを容易にするため、入退室管理システムで上部にあるドロップダウンリストボックスを使用し、ドアをフィルターできます。</p> <p>有効：ライセンスを付与されているドアは、デフォルトで有効になっています。ドアを無効にして、ライセンスを解放することができます。</p>

名前	説明
	<p>ライセンス：ドアのライセンスが有効であるか、ライセンスが有効期限切れであることを示します。ドアが無効の場合、このフィールドは空白です。</p> <p>削除：削除をクリックすると、アクセスポイントからカメラを削除します。すべてのカメラを削除すると、関連するカメラのチェックボックスが自動的にクリアされます。</p>
カメラ	<p>XProtectシステムで設定されているカメラを一覧表示します。</p> <p>リストからカメラを選択し、該当するアクセスポイントにドラッグ&ドロップして、カメラとアクセスポイントを関連付けます。</p>

GPS座標タブ（入退室管理）

入退室管理ユニットのGPS座標を追加すると、そのユニットは自動的にXProtect Smart Clientのスマートマップに表示されます。

名前	説明
入退室管理ユニット	GPS座標を追加したい入退室管理ユニットを選択します。
GPS座標	入退室管理ユニットのGPS座標を緯度、経度の形式で入力します。入力する値によって、XProtect Smart Clientのスマートマップ上の入退室管理ユニットアイコンの位置が決まります。

入退室管理イベントタブ（入退室管理）

イベントカテゴリはイベントを整理し、入退室管理の動作に影響を与えます。例えば、1つのアラームを複数のイベントタイプに対してトリガーするように設定できます。

名前	説明
<p>入退室管理イベント</p>	<p>入退室管理システムからインポートした入退室管理イベントを一覧表示します。統合プラグインが、デフォルトでのイベントの有効化や無効化をコントロールします。イベントは、統合後にいつでも有効または無効にできます。</p> <p>イベントは有効化されるとイベントデータベースに保存され、ユーザーはXProtect Smart Clientでフィルタリングすることができます。</p>
<p>ソースタイプ</p>	<p>入退室管理イベントをトリガーできる入退室管理ユニットを表示します。</p>
<p>イベントカテゴリ</p>	<p>入退室管理イベントにイベントカテゴリを割り当てます。複数のカテゴリを追加できます。</p> <p>XProtectシステムは、統合中に関連するイベントカテゴリをイベントに自動的にマップし、デフォルトの設定を作成します。マッピングは、いつでも変更できます。</p> <p>ビルトインのイベントカテゴリは、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセス拒否 • アクセス許可 • アクセスリクエスト • アラーム • エラー • 警告。 <p>統合プラグインの独自のイベントやイベントカテゴリが表示される場合があります、ご自身のイベントカテゴリを定義することもできます。</p> <div style="background-color: #f9e79f; padding: 10px; border: 1px solid #ccc;"> <p> XProtect Corporateでイベントカテゴリを変更する場合は、既存の入退室管理のルールが正しく機能していることを確認してください。</p> </div>
<p>ユーザー定義カテゴリ</p>	<p>ユーザー定義のイベントカテゴリを作成、変更、削除することができます。</p> <p>入退室管理アクションのトリガーイベントを定義する場合など、内蔵されたカテゴリが要件を満たさない場合、イベントカテゴリを作成する必要があるかもしれません。</p> <p>カテゴリは、XProtectシステムに追加されたすべての統合システムに適用されます。これによ</p>

名前	説明
	<p>り、アラーム定義などのシステムをまたいだ操作の設定を有効にします。</p> <p>ユーザー定義のイベントカテゴリを削除すると、それがお客様の統合のいずれかで使用されている場合には警告を受け取ります。それでも削除を行うと、このカテゴリで行ったすべての設定、例えば入退室管理アクションが機能しなくなります。</p>

アクセスリクエスト通知タブ（入退室管理）

特定のイベントがトリガーされたときに、XProtect Smart Clientでアクセスリクエスト通知を表示する方法をカスタマイズできます。

名前	説明
名前	アクセスリクエスト通知の名前を入力します。
アクセスリクエスト通知を追加	<p>クリックして、アクセスリクエスト通知を追加、定義します。</p> <p>通知を削除するには、右側のXをクリックします。</p> <div style="background-color: #e6f2ff; padding: 10px; border: 1px solid #add8e6;">  <p>XProtect Smart ClientをMilestone Federated Architectureで使用して親サイトにログインすると、子サイトからのアクセスリクエスト通知も表示されます。</p> </div>
アクセスリクエスト通知の詳細	<p>所定のイベントが発生した場合、アクセスリクエスト通知に表示されるカメラ、マイク、スピーカーを指定します。通知が表示されるときにユーザーに警告するために使用したい音を指定することもできます。</p>
コマンドを追加	<p>XProtect Smart Clientのアクセスリクエスト通知ウィンドウで、ボタンとして表示するコマンドを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連するアクセスリクエスト：ソースユニットで使用できるアクセスリクエスト操作に関連するすべてのコマンドを有効にします。例えば、ドアを開けるなどです。 関連するすべてのコマンド：ソースユニットで、すべてのコマンドを有効にします。

名前	説明
	<ul style="list-style-type: none"> 入退室管理コマンド：選択した入退室管理コマンドを有効にします。 システムコマンドXProtectシステムで事前に定義されているコマンドを有効にします。 コマンドを削除するには、右側の X をクリックします。

カードホルダータブ（入退室管理）

カードホルダータブを使用して、入退室管理システムにおけるカードホルダーに関する利用可能な情報を確認します。

名前	説明
カードホルダーの検索	カードホルダーの名前を入力してください。名前がシステムに存在する場合、リストに表示されます。
名前	入退室管理システムから取得したカードホルダーの名前を一覧表示します。
タイプ	例えば以下のようにカードホルダーのタイプを一覧表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 従業員 警備員 ゲスト。

入退室管理システムの統合がXProtectにおける画像ファイルの追加と削除を許可している場合、カードホルダープロフィールに画像をアップロードできます。この機能は、入退室管理システムの統合が既存のカードホルダーの画像を保存していない場合に便利です。

すべての入退室管理システムがXProtectを通じてカードホルダーの画像を追加することをサポートしているわけではありません。

名前	説明
写真の 選択	<p>カードホルダーの画像ファイルへのパスを指定します。このボタンは、統合入退室管理システムが画像を管理するもので、XProtectで画像変更を許可しない場合は非表示になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• ファイルは.bmp、.png、.jpg形式で使用できます。• ビューが最大化されるように、画像はサイズ変更されます。• Milestoneは、正方形の画像を使用することを推奨しています。
画像の 削除	<p>クリックすると、写真を削除します。カードホルダーの統合入退室管理システムの写真もある場合、その写真が代わりに表示されます。</p>



helpfeedback@milestone.dk

Milestone について

Milestone Systems はオープンプラットフォームのビデオ管理ソフトウェア (VMS) の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供しています。Milestone Systems は、世界の 15 万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成しています。Milestone Systems は、1998 年創業、Canon Group 傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

